

平成30年度 日南市立吾田小学校 学校関係者評価書

4期待以上 3ほぼ期待通り 2やや期待を下回る 1改善を要する

学校の教育目標	教育目標 目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像 目指す家庭像	「世の中の役に立つ人づくり」 ～たくましい体・豊かな人間性・確かな学力～ ・楽しい学校 ・静かな学校 ・美しい学校 ・「あ」明るい子 ・「が」がんばる子 ・「た」たくましい子 ・信頼される教師 ・学び続ける教師 ・愛情や情熱のある教師 ・子どものよさを伸ばす家庭 ・学校と連携する家庭 ・見届けて励ます家庭				
学校経営ビジョン	地域に根ざした、明日も行きたくなる学校創りを通して、世の中の役に立っているという自己存在感を体感させ、望ましい人間関係の中で、たくましい体・豊かな人間性・確かな学力を身に付け、自己実現に向け、果敢に努力する児童を育成する。					
重点目標	実践項目	具体的方策・手立て	評定	実践項目	具体的方策・手立て	評定
日南市が 目指す 4つの学 ぶ力	他者から学ぶ力	・行事関連：入学式、宿泊学習等 ・教科等関連：児童に関わる全ての人への関心をもち、その良さを意図的に導き出す。	4	自然から学ぶ力	・行事関連：避難訓練、遠足等 ・教科等関連：自然体験的な活動等を通して、気付きを促す。	3
	自ら学ぶ力	・行事関連：入学式、避難訓練、交通教室等 ・教科等関連：学びや気付きを振り返らせ、自己の成長を肯定的にとらえさせる。	3	社会から学ぶ力	・行事関連：修学旅行、交通教室等 ・教科等関連：見学や外部講師、ボランティアや地域の方々との触れ合いの機会を生かす。	4
	※ 全教育活動の中で意識付けを図る。 ※ 掲示物により全児童・全職員が常に意識できるようにする。			【日南市が目指す4つの学ぶ力】学校関係者による総合評定 3		
学校関係者の総評	○ 日南市の子どもたちに同様の力を身に付けさせる取組はとても良い。各学校で行っている取組を紹介し合いながら伸ばして行ってほしい。 ○ 4つの学ぶ力を、具体的にどのような場面で子どもたちが学んでいるのか分かりにくい部分がある。参観日の授業の機会や学級通信などで少し意識して保護者に伝えたいと思う。					
学力と読書力の向上	基本的な学習技能の向上	・習熟度別算数少人数指導、吾立っ子タイム、web学習、夏季振徳塾を活用する。 ・日常的な授業公開、4+4を意識した授業により指導力の向上を図る。	4	活用力の向上	・全国学力学習調査、みやぎき学力調査の過去の問題等を活用する。 ・各教科や総合的な学習で、言語活動を意図的に仕組んだ授業を展開する。	3
	NIE活用推進	・新聞に親しませ、学年に応じて記事の感想や要約に段階的に取り組ませる。 ・短歌や俳句、意見文等の登校を推進し思いを表現する機会を設ける。	3	読書活動、家読の充実	・週1回の図書室利用と市立図書館や読み聞かせボランティアとの連携を図る。 ・月1回家読の日を設定し、家庭への協力を依頼して家読を促進する。	3
	漢字力、計算力の向上	・家庭学習の課題を工夫して、漢字や基本的な計算力の定着を図る。 ・特別支援教育を推進し、個に応じた指導体制の充実を図る。	4	【学力と読書力の向上】学校関係者による総合評定 4		
学校関係者の総評	○ 学力調査で県平均を上回る成績を維持していることは素晴らしい。児童や保護者の努力もさることながら、教職員が熱心に指導している成果だと思う。日頃の姿からも、本校の教職員は大変熱心だと評価している。 ○ 読書については、テレビやゲーム、スマートフォン、パソコン等の影響が大きく、児童だけではなく保護者もかなりの時間を費やし、読書をあまりしないように思う。ぜひ、家読を、わずかな時間で良いのでテレビなどを消して親子で本に親しむ機会にしてほしい。					
豊かな心の育成	無言清掃の徹底	・異学年による縦割り清掃班を活用して、助け合い、認め合いを推進する。 ・教師も共に清掃作業を行い、基本的な清掃技能を身に付けさせる。	4	道徳教育の充実	・道徳の時間を要にして諸活動との関連を図りながら計画的に実施する。 ・主体的に考え、対話や議論により自己を見つめる道徳の授業に改善を図る。	4
	進んであいさつの励行	・児童会を中心にしたあいさつ運動を奨励し、称賛により意欲付けを図る。 ・月目標にしたり、中学校や地域と連携したりして日常化を図る。	3	人権教育、情操教育の推進	・常時及び人権教育週間、音楽発表会、鑑賞教室等の機会を捉えた指導を行う。 ・全教育活動を通して、相互に尊重する人間関係の醸成を図る指導を徹底する。	4
	当たり前のことを当たり前実践	・学級や児童会で係や当番等の役割遂行により主体性と責任感を育てる。 ・返事、基本的な生活習慣やきまりを守る等の振り返りの機会を設定する。	3	【豊かな心の育成】学校関係者による総合評定 4		
学校関係者の総評	○ 本校は、学校全体として落ち着いた雰囲気である。参観日や所用で訪れた時など、いつ来校しても変わらない雰囲気である。子どもたちに落ち着きや心の豊かさが育っているからだと思う。 ○ 地域でのあいさつは良いと思う。子どもたちが素直な点も評価できる。子どもなので注意を受けるようなことを言ったりしたりすることもあるが、注意を素直に聞いて謝ることができる。これは、家庭環境が良いことの表れだと思う。					
体力の向上	基礎体力の向上	・体育科の授業時間の8割以上の時間になるように十分な運動量を確保する。 ・体力テストを生かし、わくわく・サーキット運動、屋外での遊びを励行する。	3	「弁当の日」の推進	・弁当の日の事前指導や啓発を行い、家庭の協力を得ながら確実に実施する。 ・家庭科や保健の学習、給食指導等との関連を図り、食育を推進する。	3
	保健安全意識の醸成	・校舎内外の施設設備の安全点検と、安全な遊具等の使い方の指導を徹底する。 ・手洗いやうがい、肥満改善指導、運動習慣等により自己管理の習慣を身に付けさせる。	3	欠席0の日、5日	・感染症や疾病の罹患状況と予防の方法に関する情報を周知する。 ・欠席児童の家庭への連絡や、必要に応じて教育相談を行う。	3
	立腰指導	・正しい立腰の姿勢を指導するとともに活動開始と終わりの立腰を確実にやる。 ・授業中の姿勢の保持、体育科の体づくり運動を行い、体幹を整えさせる。	4	【体力の向上】学校関係者による総合評定 3		
学校関係者の総評	○ 大学と連携して健康調査にも取り組んだり、「早寝・早起き・朝ご飯」や弁当の日などの取組をしたり、健康づくりのために工夫しているのは評価できる。ぜひ続けてほしい。 ○ 今年度の猛暑には大変心配したが、大きな事故などが無くてよかった。スポーツ競技で活躍する子どもを育てることも素晴らしいが、特別に秀でていなくても適度な運動をしたり、健康安全に気を付けたりできる子どもを育ててほしい。					